

第 391 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2019 年 7 月 29 日(月) 17 時 30 分~19 時 00 分

場 所: 実習館 2 階研究所セミナー室

演 者: 増田 宜子 氏

(明海大学歯学部機能保存回復学講座保存治療学分野・准教授)

タイトル: レーザーを用いた光線力学療法と根管治療

内閣府の発表では 2030 年の平均寿命は男性 82.39 歳、女性 88.72 歳である。人生 100 年時代と言われる今日、生涯美味しく食べることが出来たら素晴らしいことだと思う。歯は食べるという大変幸せなことに直接関係する。日本歯科総合研究機構の報告によると抜歯された歯の 6 割は歯髄が無い無髄歯または根管充填された歯である。また、根管治療を施された歯は健全歯よりも歯の寿命が短いことが報告されている。細菌が根尖部にまで感染した根尖病変のある根管の再根管治療成功率は 60~80% である(歯内療法学会)。根管治療後の成功率を高めることが超高齢化社会では求められていると思う。根管はイスマスやフィン、側枝があり大変複雑な構造をしているために顕微鏡や CT を駆使しても全てを把握し対処することは困難である。さらに高齢者の根管は狭窄しており歯頸部や根面齧蝕のため根管が塞がって分からない場合も多い。感染根管内の細菌を完全に除去することは通常の根管洗浄だけでは不可能である。歯髄疾患にならないということが最も大切であるが、万が一歯髄疾患になったとしても根尖性歯周疾患にならないようにするために、また根尖性歯周疾患になったとしても再発しないために根管を無菌にする補助的な洗浄法が必要である。近年光線力学療法が注目されてきている。光線力学療法 (Photodynamic Therapy) とは、生体内に光感受性物質 (光増感剤) を注入し、標的となる生体組織にある波長の光を照射して光感受性物質から活性酸素を生じ、これによって癌や感染症などの病巣を治療する術式である。PDT ともいわれる。これを細菌などの殺菌を期待して使用することを a-PDT (抗菌光線力学療法) と呼び歯内療法でも行われるようになってきている。この a-PDT を臨床例と共にご紹介し根管治療の成功率の向上のために考察したい。

Matsumoto Dental University
Graduate School of Oral Medicine

1780 Gobara, Hirooka, Shiojiri,
Nagano 399-0781, Japan

【略 歴】

- 1992年03月 九州歯科大学卒業
- 1997年03月 九州大学大学院歯学研究科修了(歯学(博士))
- 1997年04月 昭和大学歯学部保存学第一講座助手
- 1997年11月～1999年10月 米国 NIH/NIDCR Visiting fellow
- 2001年04月 昭和大学歯学部齲蝕・歯内治療学講座講師
- 2013年12月 昭和大学歯学部歯科保存学講座歯内治療学部門准教授
- 2014年03月 昭和大学歯科病院歯内治療科診療科長
- 2016年09月 明海大学 MPL 研究准教授
- 2017年04月 明海大学歯学部機能保存回復学講座保存治療学分野助教
- 2018年04月 明海大学歯学部機能保存回復学講座保存治療学分野准教授

【所属学会】

- 日本歯科保存学会 専門医 指導医
- 日本歯内療法学会 専門医 指導医
- 日本レーザー歯学会 専門医

担当:健康増進口腔科学講座
吉成伸夫